

経営比較分析表（令和6年度決算）

大阪府 田尻町

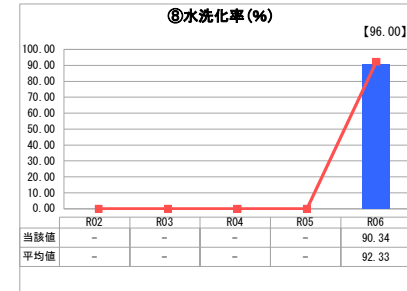
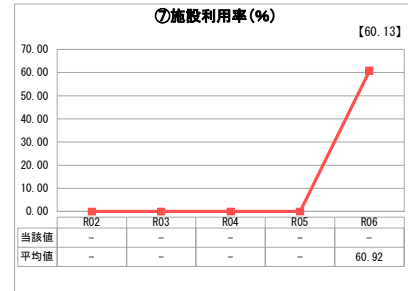
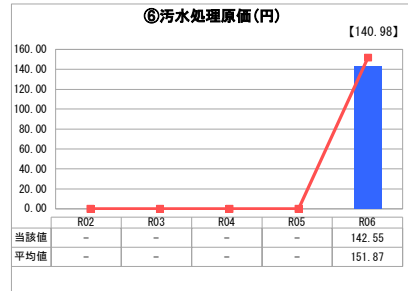
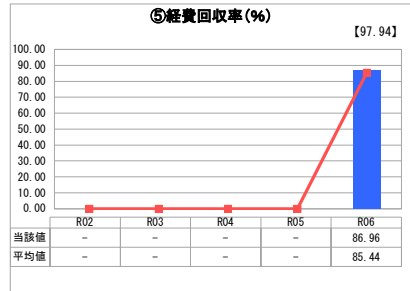
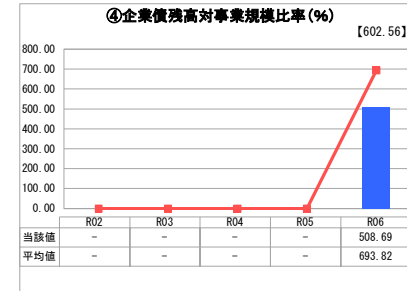
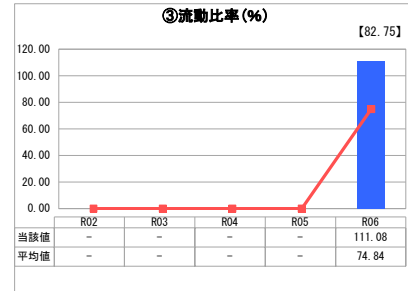
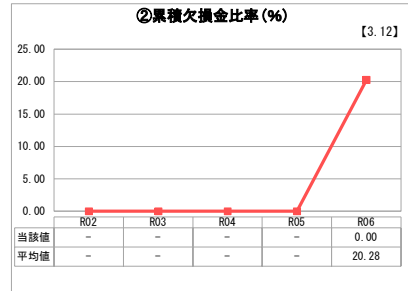
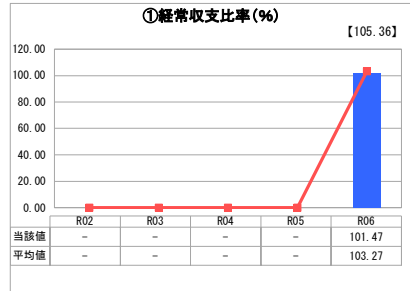
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	89.58	97.37	88.58	1,830

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
8,484	5.62	1,509.61
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
7,983	1.45	5,505.52

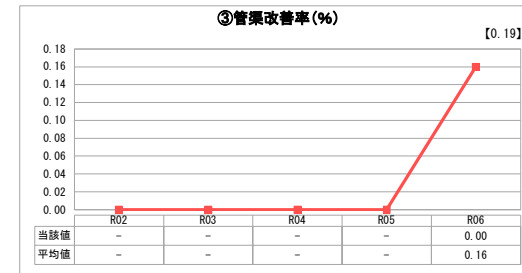
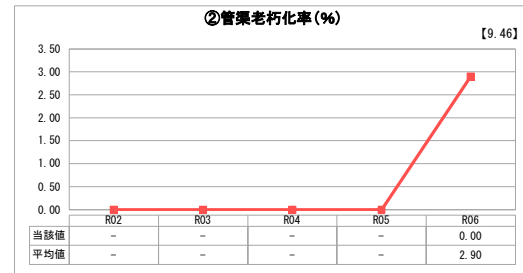
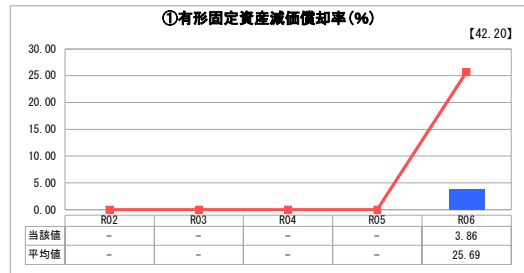
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度から法適用となり、類似団体平均値での単年度の比較となる。
 経常収支比率は101.47%と100%を上回り黒字を確保している。流動比率も100%を超えて短期的な健全性は確保されている。
 累積欠損金比率は0%で、欠損金は発生しておらず健全である。
 流動比率は111.08%で、短期的な支払能力は確保されている。
 企業債残高対事業規模比率は508.69%で相対的に低く、債務負担は比較的抑制されている。
 経費回収率は86.96%で、汚水処理費を使用料で十分賄っていない状況にある。使用料水準の検討、接続促進、維持管理費の縮減等により回収率の向上が必要である。
 汚水処理原価は142.55円で類似団体と比較し低水準となっている。
 水洗化率は90.34%で、加入促進の取組強化により、引き続き使用料収入の増加と経費回収率の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は3.86%と低いが、令和6年度に法適用したことによる計上開始時点の影響が大きいと考えられる。
 管渠老朽化率は0%で、現時点で耐用年数50年を経過した老朽管渠はないが、将来的に改修時期が重なることが予想される。
 今後は、老朽化・更新需要を見据え、接続促進・費用低減・料金水準の検討等を組み合わせ、持続可能な経営基盤の確立を図る必要がある。

全体総括

令和6年度からの法適用により単年度評価であるが、経常収支は黒字(101.47%)、累積欠損金なし、流動比率も100%を超えて短期的な健全性は確保されている。
 一方、経費回収率が86.96%と全国平均を下回り、使用料で汚水処理費を十分賄っていないこと、水洗化率が類似・全国平均より低いことが課題である。
 今後は、老朽化・更新需要を見据え、接続促進・費用低減・料金水準の検討等を組み合わせ、持続可能な経営基盤の確立を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。